

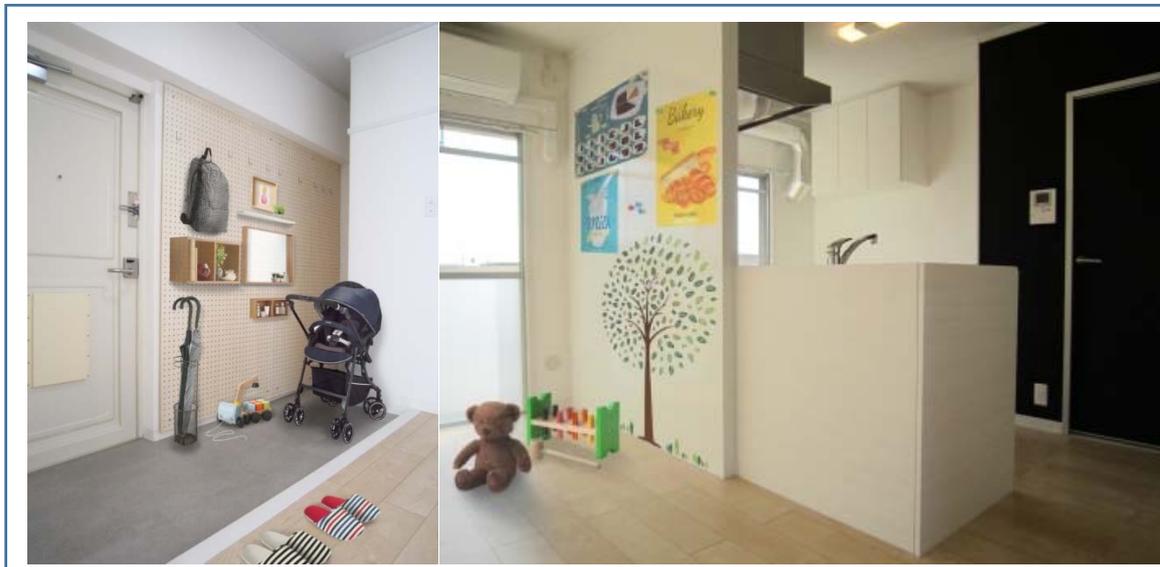
千葉幸町団地を子育て世帯に優しい団地へ ～ハード・ソフト両面で子育て支援プロジェクトを開始～

独立行政法人都市再生機構（UR）は、千葉幸町団地（昭和 44 年管理開始 4,287 戸）において、中層住棟への踊場着床型エレベーターの設置と併せ、子育て世帯向けにリノベーションした住戸を供給します。また、子育て世帯向けの住戸の供給を契機として、子育て世帯が安心して楽しく生活できる環境整備も含めた総合的な子育て支援プロジェクトを始動します。それに先立って、子育て世帯向けにリノベーションした住戸の報道関係者向け内覧会を 4/17（火）に実施します。

今回供給を開始する住戸は、「赤ちゃんと、安全に、シンプルに暮らす」をコンセプトとしたもので、子育て世帯を対象（期間限定）として入居者を募集します。内装・設備は、乳幼児との生活を想定して、子育て中の UR 職員の実体験を元に『あったらいいな』を集めた住戸です。

<主なポイント>

- ① 外出しやすい環境（中層エレベーターと 1F ピロティー内のベビーカー置き場）
- ② 安全性（対面キッチン、モニター付きインターホン、玄関人感センサー、樹脂畳）
- ③ 収納の工夫（広い土間、有孔ボード、飾り棚）
- ④ 家族のコミュニケーション（マグネットボード、チョークボード）



このような、中層エレベーターの設置や子育て世帯向けの住戸の供給といったハードの取組みと併せ、子育て世帯が住みやすく、団地内で人と関わり楽しく生活ができるソフトの取組みを進めます。

お問い合わせは下記へお願いいたします。

○UR 都市機構 東日本賃貸住宅本部

千葉エリア経営部 ストック活用計画課 新留・日尾（電話）043-296-7203

総務部 総務・法務課 前田（電話）03-5323-2555

1 子育て世帯向けリノベーション住戸について

1) 供給の経緯

URでは平成26年10月から、千葉幸町団地を地域医療福祉拠点化※取組み団地と位置付け、ミクストコミュニティの形成に取り組んでおります。今般、高齢者の方や子育て世帯の方に快適にお住まいいただけるように、団地内の段差解消等のバリアフリー化の一環として中層エレベーターの設置を行いました。これまで、URでは中層エレベーターの設置に併せ、主に高齢者向けの住戸供給を行ってきましたが、今回、千葉幸町団地では、子育て世帯のための住戸を供給することとしました。住戸設計に当たっては、子育て中のUR職員を対象に、乳幼児と生活するのに『あったらいいな』を集め、様々な工夫を凝らした住宅が完成しました。

(※ URが地域関係者と連携・協力し医療福祉施設の充実、多様な世代に対応した住環境の整備、多世代のコミュニティの形成を推進する取組み [URL:http://www.ur-net.go.jp/welfare/](http://www.ur-net.go.jp/welfare/))

2) 改修のポイント

(1) 一定程度のバリアフリー水準の改修を実施

(2) 子育て目線に立ち、「外出しやすい環境」「安全性」「収納の工夫」「家族のコミュニケーション」の4カテゴリーの改修を実施

3) 募集方法

・4/19～5/19まで子育て世帯限定で先着順募集

現に同居する満18歳未満の子どもを扶養する世帯（申込時に妊娠している場合も含む）

2 子育て支援プロジェクトについて

プロジェクトの概要

千葉幸町団地において、子育て世帯が安心して楽しく生活できるハードとソフトからなる環境整備を進め、子育て世帯の住まい方を提案します。

ハード整備

→ 中層エレベーターの設置と子育て世帯向け住戸の供給

→ ベビーカー置場等の共用空間の再整備

ソフト環境整備（団地に住む子育て世帯全体を対象）

→ 団地周辺の子育て支援施設等を示したマップを配布（予定）

→ 多世代との交流を促すコミュニティ施設との連携（予定）

→ 団地内施設で子育て相談やイベント等開催中

3 報道関係者向け内覧会概要

日時：4月17日（火） 11:00～17:00

場所：千葉県千葉市美浜区幸町2 千葉幸町団地14-8号棟501号室

内覧会にご参加いただける場合は、お手数ですが、別添FAX返信用紙にて4月16日（月）12時までにお知らせいただきますよう、お願いいたします。

